

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	はり・きゅう臨床実習3	実習	2	90	はりきゅう実技、東洋医学概論、東洋医学臨床論、経絡経穴概論
学科・学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 3学年	伊藤栞里 森井健司 川口拳 久保田明美	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	実務(臨床の場面)での疾患鑑別に必要な知識、鍼灸の色々な手法について学びます。		
授業目標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>患者を治療するために必要となる知識・技術を習得し、医療従事者としての自覚を持って責任のある行動をとれるようになる。</p> <p>①身体の基礎的状态を観察評価し、損傷の要因を考察する判断力を習得する。            ②物理療法の理解を深める機会とする。            ③患者に対する接しかたを学び、思いやりを持ち、礼儀正しく、節度ある態度で接することを学ぶ。            ④医療従事者としての自覚を持ち、責任を持った行動をとれるよう、考え行動する力を育てる。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>この授業は、臨床に求められる臨床力を育てることを目的に、その基本となる考え方や方法を学んでいきます。従って、今までに勉強してきたすべての知識を用いて患者の病態を把握し、治療法について検討してもらいます。実際の患者を通して、その症例について様々な視点から病態や治療法などについてグループで検討し、クラス内で意見を出しあうことで、自らの考える力を伸ばしていきます。そのために必要となる参考書・教科書等は授業に持ち込み、理解が深まるように準備してください。</p>					
教科書・参考書					
随時プリント配布					
受講時留意点、その他					
<p><b>【 全科目受講時共通事項 】</b>※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。</li> <li>●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。</li> <li>●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。</li> <li>●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。</li> <li>●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。</li> </ul> <p>※注意            授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p><b>【 受講科目受講時留意点 】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●授業開始時は実習着に着替え、実技道具を用意し、臨床施設にて着席し待機して下さい。</li> <li>●臨床施設では実習着、実習靴、名札を着用すること(忘れた場合は授業に参加できません)。</li> <li>●実習中にふざける、騒ぐ等の態度をとることを禁止します。髪の毛の長い学生は結んで下さい。</li> <li>●臨床施設は飲食は禁止です(必要があれば担当講師の許可を得て下さい)。</li> <li>●実習において清潔さを欠いていたり、相応しくない身だしなみや服装、頭髪の者に対して、実習参加を認めない場合もあります。</li> <li>●臨床施設では施設スタッフ、担当教員の指示に従い行動してもらいます。指示に従えない場合は、実習の参加を認めない場合もあります。</li> </ul> <p>★★★遵守事項★★★</p> <p>①臨床実習で得た「個人情報」を他の人に話すことは法律上禁止されています。            ②患者さんの不利益となる行為は如何なる理由があろうと、実習を中止します。            上記①・②について遵守できなかった場合は、厳しい処分が科せられる場合もあります。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	60	実技認定試験			
その他	40	提出物(実習ファイル)・症例検討			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		ROM①		/	伊藤 ・ 森井
2		ROM②		/	伊藤 ・ 森井
3		ROM③		/	伊藤 ・ 久保田
4		ROM④		/	伊藤 ・ 久保田
5		ROM⑤		/	伊藤 ・ 川口
6		徒手検査法①		/	川口 ・ 伊藤
7		徒手検査法②		/	川口 ・ 伊藤
8		徒手検査法③		/	川口 ・ 伊藤
9		徒手検査法④		/	川口 ・ 伊藤
10		徒手検査法⑤		/	川口 ・ 伊藤

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		MMT①		/	久保田 ・ 森井
12		MMT②		/	久保田 ・ 森井
13		MMT③		/	久保田 ・ 森井
14		MMT④		/	久保田 ・ 森井
15		MMT⑤		/	久保田 ・ 森井
16		復習		/	伊藤 ・ 久保田
17		復習		/	森井 ・ 川口
18		復習		/	伊藤 ・ 川口
19		症例検討について 医療面接		/	森井 ・ 伊藤
20		症例検討①		/	久保田 ・ 川口

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		症例検討②		/	森井 ・ 伊藤
22		症例検討③		/	久保田 ・ 川口
23		症例検討④		/	森井 ・ 伊藤
24		症例検討⑤		/	久保田 ・ 川口
25		症例検討⑥		/	森井 ・ 伊藤
26		症例検討⑦		/	久保田 ・ 川口
27		症例検討⑧		/	森井 ・ 伊藤
28		症例検討⑨		/	久保田 ・ 川口
29		症例検討⑩		/	森井 ・ 伊藤
30		症例検討⑪		/	久保田 ・ 川口

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31		症例検討⑫		/	森井 ・ 久保田
32		症例検討⑬		/	伊藤 ・ 川口
33		症例検討⑭		/	森井 ・ 久保田
34		発表準備		/	森井 ・ 伊藤
35		発表準備		/	久保田 ・ 川口
36		発表準備		/	伊藤 ・ 川口
37		診察実習		/	専任
38		診察実習		/	専任
39		生体観察		/	専任
40		地域医療と鍼灸臨床		/	専任

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
41		地域医療と鍼灸臨床		/	専任
42		模擬施術		/	専任
43		復習		/	専任
44		症例検討		/	専任
45		症例検討		/	専任
				/	
				/	
				/	
				/	
				/	